

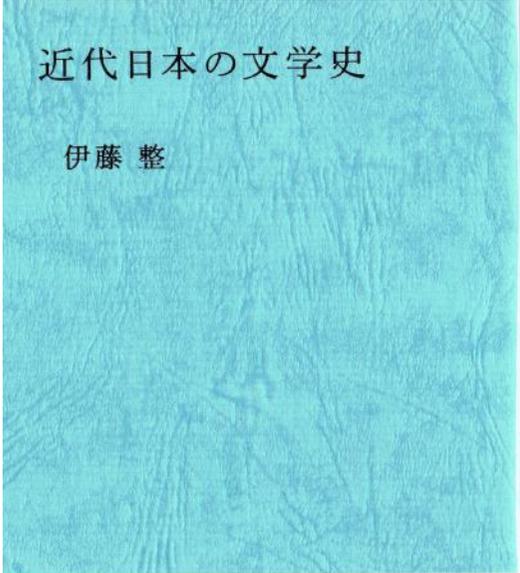
3月25日重版

『近代日本の文学史』 伊藤整著

日本文学の教科書と呼べる名著、7年ぶりに増刷しました。

貴店名
部数
冊
ご担当者様

明治維新から、深沢七郎があらわれる昭和33年までの日本文学の歴史と、躍動する文学者たちの姿を、卓抜した批評眼で、簡潔にわかりやすく描いた、伊藤整の幻の名著『近代日本の文学史』。コアな文学ファンから、文学をいちから知りたい大学1年生まで、幅広い世代の読者が手元において、何度も読み返したくなる1冊です。夏目漱石からまったく無名の作家まで、登場する文学者の名前はなんと800人以上。大著『日本文壇史』のダイジェスト版ともいえる本書は、もちろん索引つき。巻末エッセイは荒川洋治。「文学の核心は、文学の歴史だ。そうぼくが感じたのは、この本の存在を知ったとき（略）伊藤整の文章だからこそ、読者はさまざまなものを見ることができるのだ。みちたりた心地になれるのだと思う。」多くのリクエストにこたえて、7年ぶりの増刷です。



価格：2200+税 / 448頁 / ビニールカバー

四六版変形並製 ISBN 978-4-904816-05-9 C0090

取次：JRC（すべての取次からの搬入が可能です）

ご注文は JRCへ FAX：03-3294-2177 電話：03-5283-2230

発行 夏葉社 TEL/FAX 0422-20-0480 東京都武蔵野市吉祥寺北町1-5-10-106

発行 夏葉社
 近代日本の文学史
 伊藤整 著
 本体2200円+税